

3. 大会参加申し込み・大会参加費（事前申し込み・事前支払い制）・大会日の受付

大会に参加するためには、学会ウェブサイト内の大会ウェブサイトから事前に申し込み、大会参加費をお支払いいただくことが必要です。非会員の方もウェブサイトから臨時会員としての申し込みが可能です。

大会参加申し込み期間は、5月8日（月）から8月25日（金）18時までとします。期限後の大会参加申し込みも可能ですが、その場合には期限後として設定された参加費となりますので、お気をつけください。

大会参加費は以下の通りです。

<大会参加費>

		一般	学生
期限内 申し込み	会員	5,000円	3,000円
	臨時	5,500円	3,500円
期限後 申し込み	会員	7,000円	5,000円
	臨時	7,500円	5,500円

※ オプションで「昼食用弁当」を申し込まれる場合は、1,200円（税込）／日のお支払いをお願い致します。

- 大会参加費等の支払いは、クレジットカードによる「オンライン決済」もしくは「銀行振込」のいずれかとなります。8月25日（金）の期限内に申し込みと決済の手続きをお済ませください。ただし、支払いは極力「オンライン決済」をご利用ください。なお、期限後の支払いについては「オンライン決済」のみとさせていただきます。当日会場でもオンライン決済によるお支払いのみ受け付け可能です。
- 申し込み時に、会員番号（ID）の入力が必要となります。学会からの郵送物の宛名の下に掲載されている番号となります。会員番号（ID）・パスワードがご不明の際は、参加申込システム等の「ログインできない方はこちら」より再取得が可能です。対応にお時間をいただくことがございますので余裕をもってご確認願います。
- 一般／学生の会員種別について、学会ウェブサイトの「会員情報管理システム」において、最新の情報に更新してください。
- 「臨時（学生）」には、学部学生が含まれます。
- 入会申込中の方は臨時会員としてご登録いただきます。ただし、5月半ばごろまでに入会申込を完了された方は6月下旬には入会が承認されている可能性があり、それ以降は会員としての扱いとなります。
- キャンパス近隣にはコンビニや飲食店がほぼないため、ご注意ください。キャンパス内の食堂（Horest）は、9月9日（土）は営業予定ですが10日（日）は閉店の予定です。キャンパスコンビニ（Cerisier）は、両日営業予定です。なお、大会参加申し込み時にオプションで「昼食用弁当」の申し込みをしていただいた方には、大会事務局にて弁当（東屋（<http://azumaya.tv/new/>）等の弁当）をご用意させていただきます。
- 大会参加費について、会員（学生）は会員（一般）よりも2,000円減額されています。この減額分には、学会による大会参加負担軽減措置としての1,000円分が含まれています。
- 今大会では、大会会場における参加受付の方法が従来と大幅に異なります。今大会では、申し込み期間内に参加申し込みと支払いをなさった方の名札が、「期間内受付」に用意されています。そこからご自分の名札を受けとって会場にお入りください。申し込み期間後に参加申し込みと支払いをなさった方は、「期間後受付」に申し出てくださいと名札用紙をお渡します。ご自分で名前とご所属をご記入ください。当日申し込みの方は、「当日受付」にて、オンラインによる参加申し込みと参加費の支払い、および、名札の記入をしていただきます。
- オンライン大会以前は、大会当日に受付で発表要旨集録の冊子またはUSBを配布していましたが、今大会では、受付で発表要旨集録の冊子およびUSBを配布することはいたしません。その代わりに、大会期日に先だって、オンラインにて各研究発表の発表要旨の閲覧とダウンロードができるようにします。事前にダウンロードして大会にいらしてくださるようお願いいたします。また、「8. 本大会におけるwi-fi環境について」（8ページ）に示したWi-Fi環境にて、大会会場での発表要旨の閲覧とダウンロードも可能です。

4. 研究発表の申し込み

- (1) 発表申し込みと発表要旨原稿の提出は、大会ウェブサイト(5/8には運用開始予定。学会ウェブサイト内。)から行って下さい。発表申し込みは、大会参加申し込みが完了した後に送られるメールに記された URL からエントリーしていただけます。
- (2) 「一般部会」に加えて「テーマ部会」、「英語特設部会」、「ポスター発表部会」が設置されます。

<発表申し込み期間>

発表申し込み期間は、5月8日(月)から6月1日(木)18時までとします。研究発表を希望する会員は、個人発表ならびに共同発表ともに、上記の期間内にお申し込みください。

<発表資格>

個人発表・共同発表ともに、発表資格があるのは、2022学会年度の会費を、4月30日(日)までに納入された方です。新規入会者は、4月30日(日)までに入会手続き(会費の振り込みとオンライン新入会申込)をされた場合、発表資格があります。上記の条件を満たしていない場合、発表申し込みはできませんので、ご注意ください。発表資格の詳細は学会ウェブサイトでご確認ください。会費は4/30に着金していることが必須条件のため、お振込みをご利用の方は余裕をもってご手配願います。

<テーマ部会の発表者公募>

第75回大会において、テーマ部会「日本の近代化と女子キリスト教主義教育」を設けます。詳細については5ページの記載を参照してください。

<英語特設部会の発表者公募>

国際委員会では第75回大会において英語で発表を行う特設部会を設けます。詳細については6～7ページの記載を参照してください。

<ポスター発表部会の発表者公募>

研究委員会では第75回大会においてポスターセッションによる発表を行う部会を設けます。詳細については7ページの記載を参照してください。

<発表申し込み上の注意点>

- (1) 期日までに申し込みが行われない場合、受け付けられません。また、大会への参加申し込みと参加費の支払いも忘れずに行ってください。
- (2) 会員の発表は、一般部会・テーマ部会・英語特設部会・ポスター発表部会のいずれか1回に限ります。ただし共同発表における登壇者以外の連名はこの限りではありません。
- (3) 共同発表の場合は、登壇者(登壇者が複数いる場合は代表者)のみが申し込みを行ってください。ただし、大会への参加申し込みと参加費の支払いは共同発表者の全員が行う必要があります。
- (4) 発表申し込みの受理確認として、ご指定のアドレスに受領メールが配信されますので、必ずご確認ください。メールが配信されない場合は申し込みが受理されておりませんので、再度お試しいただくか、大会実行委員会までお問い合わせください。
- (5) 同一の研究成果をいくつかに分け、複数の部会で分担して発表する場合、「その1」「その2」等の名称で連続的に報告することを避け、各部会の発表に、独立性・完結性を持たせるように留意してください。
- (6) 大会直前の発表取り消しは大会運営に重大な支障をきたしますので、やむを得ない場合を除いてないようにしてください。

<発表要旨原稿の提出>

- (1) 発表申し込み者(共同の場合は代表者)は、12ページ以降の『発表要旨』執筆要綱に基づき、原稿を7月14日(金)から8月14日(月)18時までにお送りください(締め切り厳守)。発表要旨原稿の受付は、

PDF形式のファイルのみとなっております。なお、ファイル容量の上限は5MBです。

- (2) 本大会での発表要旨原稿の提出受付は、大会ウェブサイトから行います。郵送、FAX、電子メールでの送付は受け付けません。
- (3) なお、発表申し込みの際の発表題目がそのまま大会プログラムの題目となりますので、**発表申し込みの際の発表題目と発表要旨原稿の題目は必ず同じもの**にしてください（副題を含む）。なお発表申し込みの際の発表題目は、申し込み時に送付されるメールに記載されています。

<発表部会の編成について>

今大会では、**一般部会に加えて、テーマ部会、英語特設部会とポスター発表部会を設置します。**

発表を希望される場合は、発表申し込みの際に、下記の一般部会（27部会）とポスター発表部会、テーマ部会（1部会）、英語特設部会の、合わせて32の選択肢から、第一希望、第二希望を選択してください。なお、部会の選択にあたっては、下記のキーワードや、以下の<テーマ部会の設定趣旨について>、<英語特設部会について>、<ポスター発表部会について>をご参照ください。

【一般部会の部会番号・部会名・キーワード】

部会番号・部会名	キーワード
1. 理論	学説/学史、理論、思想
2. 方法論、分析法	リサーチデザイン、社会調査法、データ分析法、因果推論、質的研究
3. 教育の歴史社会学	教育史、学校史、民衆文化史、教育の社会史、教育文化史
4. 子ども・青少年	子ども論、子ども文化、子ども観、発達/社会化、子ども史、青年論/若者論、青年文化
5. 教育問題・社会問題	逸脱/非行、青少年問題、問題行動、いじめ、不登校、学力問題、児童虐待
6. 家族と教育	家族、家庭、親子関係、しつけ、社会化、家族問題、ライフコース、少子高齢化
7. ジェンダーと教育	ジェンダー、性役割、フェミニズム、セクシュアリティ、女性学、男性学、LGBTQ/SOGI
8. 保育・幼児教育	就学前教育、保幼小連携
9. 初等・中等教育	学校論、学校組織、学校・学級経営、児童生徒の人間関係、教室秩序、学校文化
10. 教育方法・カリキュラム（高等教育を除く）	授業方法、評価、カリキュラム、教科外活動
11. 教師	教師論、教師集団、教師文化、教員養成/研修、教員人事
12. 高等教育（1）学生・キャリア	学生、卒業生・修了者、キャリア、就職活動、学生文化、人材育成
13. 高等教育（2）制度・政策	大学財政、高等教育政策、大学改革、専門学校、高等専門学校、大学院、質保証、研究費
14. 高等教育（3）教職員・カリキュラム	大学教員、大学職員、大学経営、研究と科学、アカデミック・プロフェッション
15. 地域社会と教育	地域環境、地域住民組織/PTA、余暇、ボランティア活動、学社連携、ノンフォーマル教育
16. 生涯教育	社会教育、生涯教育/生涯学習、成人教育、公民館/博物館、リカレント教育
17. 社会的公正と教育	差別、人権、解放教育、同和問題、性差別、民族差別、マイノリティ
18. 進路と教育	進路指導/キャリア教育、職業教育、進路選択、入試/受験、塾/予備校/学校外教育、トラッキング、奨学金
19. 社会階層と教育	階層・階級、社会移動、教育機会、学歴、文化資本、職業、人口、学力、合理的選択理論、健康
20. 教育政策・制度	教育制度、教育法規、教育政策、教育行財政、教育経営、学校改革、教育改革、教育の政治学
21. 福祉と教育	児童養護施設、スクールソーシャルワーカー、学童保育
22. 特別支援教育	発達障害、教育的支援、インクルージョン、療育
23. 異文化間教育	多文化教育、海外帰国児童生徒、留学生、エスニシティ、ニューカマー、外国につながる子ども、シテイズンシップ教育、移民

＜英語特設部会について Call for Proposals: JSES English Special Session＞

第 75 回大会における英語特設部会は、教育社会学における様々な分野での研究蓄積を国際的に発信しようとする意欲ある方々（会員・海外からの招待参加者）の発表を、広く募集します。英語による発表の場として、積極的にご応募ください。

【英語特設部会の概要】

- (1) 部会日時：一般部会と共通
- (2) 発表・質疑応答の言語：原則として英語
- (3) 発表要旨・資料の言語：英語（英語特設部会テンプレートに基づいて作成してください）
英語特設部会テンプレートは大会ウェブサイトよりダウンロード：<https://jses-web.jp/conference/75>
- (4) 発表時間：25 分（発表 20 分+質疑応答 5 分）

【英語特設部会の発表申し込みの方法】

一般部会と同様に、大会ウェブサイトからお申し込みください。発表申し込み・要旨提出の方法、及び期間は、一般部会と共通です。今大会より、英語特設部会を第一希望（部会番号・部会名「29. 英語特設部会」とした場合でも、一般部会を第二希望に指定することが可能になりました。ただし、発表言語は、英語特設部会は原則英語、一般部会は原則日本語であることを、ご承知おきください。また、英語特設部会の申し込み（期間：5月8日～6月1日）では、発表者の氏名と所属、発表題目は日英併記としてください。ご発表いただく部会が英語特設部会になるか一般部会になるかは、6月17日以降のできるだけ早い時期にご連絡いたしますので、発表要旨原稿は、該当する部会の言語で作成し、大会ウェブサイトから提出してください（受付期間：7月14日～8月14日）。なお、一般部会への申し込みを希望されない場合は、第二希望（部会番号・部会名「30. 英語特設部会のみ希望」としてください。

【お問い合わせ先】

国際委員会 jses.international.session@gmail.com

The JSES English Special Session will be held during the 75th JSES Annual Meeting. We welcome applicants (JSES members and invited speakers from abroad) who are willing to disseminate research findings in various fields of Sociology of Education to the international audience.

【About the Session】

- (1) Date and time: Concurrent with Japanese General Sessions
- (2) Language (oral presentation): Mainly in English.
- (3) Language (abstract and presentation materials): English (Follow the English Special Session template downloadable from the 75th Annual Meeting website: <https://jses-web.jp/conference/75>.)
- (4) Length of one presentation: 25 minutes (20 minutes presentation and 5 minutes discussion.)

【How to Apply】

As with the General Sessions, please register through the conference website (prepared only in Japanese. If you need assistance, please contact the Directorate of International Affairs). The same procedures and deadlines for registration and submission of abstracts as for General Japanese Sessions apply. Select [Session Number / Session Name] "29. English Special Session" as your first choice. Starting from this year's conference, it is now possible to choose one of the General Japanese Sessions as your second choice. However, please note that, in principle, the language of presentation must be English for the English Special Session and Japanese for the General Japanese Sessions. In the application for the English Special Session (period: May 8 - June 1), the name and affiliation of the presenter and the title of the presentation should be written both in English and Japanese. We will inform you as soon as possible

after June 17 whether your presentation will be in the English Special Session or the General Japanese Session. Please prepare your abstract in the language of the appropriate session and submit it via the 75th Annual Meeting website (submission period: July 14 - August 14). If you do not wish to apply for the General Japanese Session, please select [Session Number / Session Name] "30. English Special Session only" for your second choice.

【Contact】

Directorate of International Affairs: jses.international.session@gmail.com

＜ポスター発表部会について＞

今大会では、研究交流の一層の活性化に向けてポスター発表部会を設けます。ポスター発表部会では、発表者は会場内に設置された掲示板（ボード）に研究成果をポスター形式で掲示し、訪れた参加者に説明し、質疑に応答します。ポスター発表は口頭発表と同じ扱いです。発表資格も口頭発表と同様とします。

【ポスター発表部会の概要】

1. ポスター発表では、所定の時刻までに指定された掲示板（ボード）にポスターを掲示します。指定された責任在席時間中は在席し、研究内容の説明と質疑に応じてください。
2. ポスターの掲示時間は120分、責任在席時間は指定された60分とします。共同発表であっても責任在席時間は60分とします。部会終了時に掲示したポスターを片付けてください。
3. 部会は第1日の10:30～12:30に開催します。なお、申し込み多数の場合は第1日の15:00～17:00にも部会を設けます。責任在席時間は60分ずつ2つの時間帯に分けます。
4. 発表者が欠席した場合や責任在席時間にはいない場合は「発表取消」となります。

【ポスター発表部会の発表申し込みの方法】

発表申し込みと発表要旨原稿の提出については一般発表と同じです。ポスター発表のみを希望される場合は、第一希望に「31. ポスター発表部会」を選択し、第二希望は「32. ポスター発表部会のみ（第二希望なし）」を希望される方は、第二希望には便宜的にこちらを選択してください」を選択してください。

【ポスターの準備について】

1. 掲示板（ボード）の大きさは、縦180cm×横120cmです。この大きさを上限としてポスターを準備してください。A0判、B0判も貼れますし、それより小さな掲示物を複数枚貼ることも可能です。
2. ポスターの冒頭に発表題目と発表者全員の氏名と所属を記入してください。連名の場合は、発表者に○印を付けてください。

5. 発表における機器の準備・使用について

- (1) 本大会では、発表で利用するプロジェクターのみ大会校で用意します。発表で利用するパソコンについては発表者をご持参ください。
- (2) 接続ケーブルとしてはHDMI対応となっています。それ以外の接続を希望される場合は、専用のコネクタをお持ちください。
- (3) 大会校での複写は受け付けておりません。発表資料は、事前に十分な部数をご用意ください。

6. 若手研究者交流会（9月8日（金）大会前日）

若手の教育社会学研究者の自由な意見交換の場としての若手研究者交流会は、大会前日（9月8日）の16:00～18:00に開催いたします。

7. 懇親会

本大会では、残念ながら、懇親会は開催しないことといたしました。

8. 本大会におけるwi-fi 環境について

- (1) 本大会の会場内ではeduroam が使用可能です。所属先がeduroam と契約を結んでいるかどうかご確認ください。
- (2) 会場内の会員控室等にフリーwi-fi の接続スポットを設置する予定です。

9. バリアフリー対応について

車いす利用など対応が必要な方は、事前に大会実行委員会（メール：jses2023taikai@gmail.com）までご連絡ください。

10. 大会期間中の一時保育について

9月8日～10日の3日間、大会校内での一時保育（託児）室を設置する予定です。希望される方は、大会参加申し込み時にオプションで「一時保育」の申し込みをしてください。申し込み後、個別に詳細についてお伺いさせていただきます。なお、お部屋の関係上10名程度を上限とさせていただきます。お早目の申し込みをお願いします。その他、急遽一時保育の必要が生じた場合等は、事前に大会実行委員会（メール：jses2023taikai@gmail.com）までご連絡ください。

11. 宿泊のご案内について

本大会では、宿泊についてのご案内はいたしません。

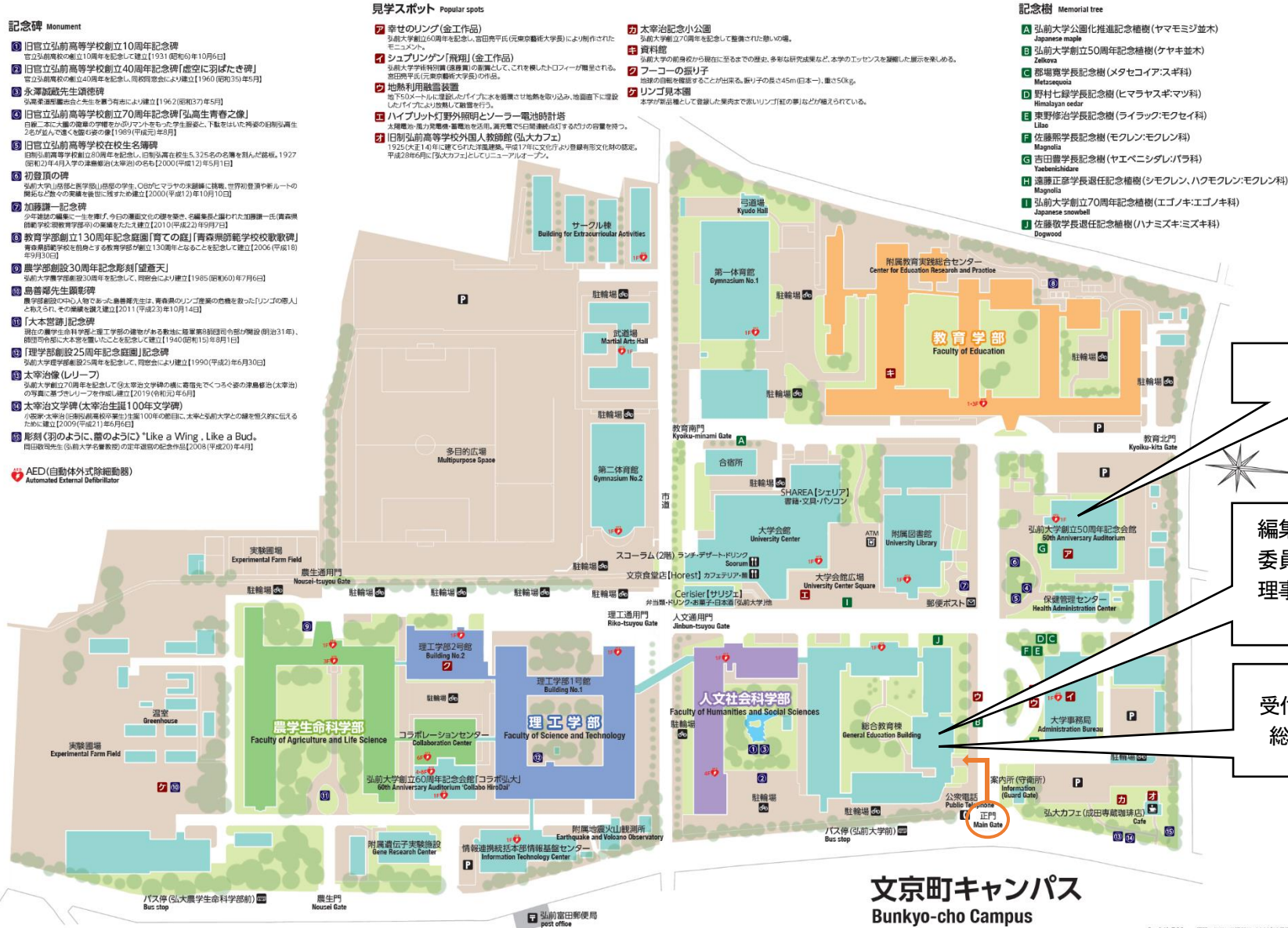
13. 大会会場へのアクセス

最寄り駅からのアクセス



JR 弘前駅から	<p>徒歩の場合（約 20 分）</p> <p>タクシーを利用する場合（約 5 分）</p> <p>バスを利用する場合（約 15 分） JR 弘前駅前（中央口）【3 番のりば】 「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車、【弘前大学前】で下車</p> <p>「小栗山・狼森線」の案内 </p> <p>「学園町線」の案内 </p>
弘前バスターミナルから	<p>徒歩の場合（約 20 分）</p> <p>タクシーを利用する場合（約 5 分）</p> <p>バスを利用する場合（約 15 分） 【バスターミナル前のりば】 「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車、【弘前大学前】で下車</p>
弘南鉄道	<p>弘高下駅で下車し、徒歩の場合（約 5 分）</p> <p>弘前学院大前駅で下車し、徒歩の場合（約 7 分）</p>

弘前大学文京町キャンパス会場案内図



記念碑 Monument

- 1 旧国立弘前高等学校創立10周年記念碑
国立弘前高校の創立10周年を記念して1931(昭和6)年10月6日
- 2 旧国立弘前高等学校創立40周年記念碑「虚空に羽ばたき碑」
国立弘前高校の創立40周年を記念し、同校同窓会により建立[1960(昭和35)年5月]
- 3 永澤誠哉先生遺徳碑
弘前県道三浦会と先生を慕う有志により建立[1962(昭和37)年5月]
- 4 旧国立弘前高等学校創立70周年記念碑「弘高青春之像」
日本二大最大の産物の学術を誇り、アムステルダムに学生寮を、下駄をはいた袴姿の肥前弘高生を名が並んで速く走る姿の像[1989(平成元)年5月]
- 5 旧国立弘前高等学校在校生名簿碑
旧国立弘前高等学校創立10周年を記念し、世帯別弘高在校生5,335名の名簿を基に設計。1927(昭和2)年4月入学の卒業生(卒業生)の名も[2000(平成12)年5月1日]
- 6 初登頂の碑
弘前大学、山形県と岩手県(山形県)の学生、OBCがヒマラヤの水鏡湖に挑戦、世界初登頂や新ルートの開拓に多くの功績を後世に残すため建立[2000(平成12)年10月10日]
- 7 加藤謙一記念碑
この年報の編輯に一生を捧げ、今日の産物文化の礎を築き、名編集長と謳われた加藤謙一氏(真直県前南高等学校教諭)の業績をたたえ建立[2010(平成22)年9月7日]
- 8 教育学部創立130周年記念庭園「育ての庭」青森県師範学校校歌碑
青森県師範学校を前身とする教育学部が創立130周年となることを記念して建立[2006(平成18)年9月30日]
- 9 農学部創設30周年記念彫刻「望蒼天」
弘前大学農学部創設30周年を記念して、同窓会により建立[1985(昭和60)年7月6日]
- 10 島崎藤村先生顕彰碑
農学部創設の中心人物であった島崎藤村先生は、青春のリング産業の危機を救ったリングの恩人と呼ばれ、その業績を讃え建立[2011(平成23)年10月14日]
- 11 「大本密跡」記念碑
現在の農学生命科学部と理工学部の建物がある敷地に、創業98周年(創設明治31年)、創部50周年に「大本密跡」を完成し建立[2019(令和元)年6月]
- 12 「理学部創設25周年記念庭園」記念碑
弘前大学理学部創設25周年を記念して、同窓会により建立[1990(平成2)年6月30日]
- 13 太宰治像(レリーフ)
弘前大学創立70周年を記念して、太宰治文学碑の横に書生でつくづく愛の津島修治(太宰治)の写真に基きレリーフを完成し建立[2019(令和元)年6月]
- 14 太宰治文学碑(太宰治生涯100年文学碑)
弘前大学が、太宰治先生が誕生100年の節目に、太宰治と弘前との縁を恒久的に伝えるために建立[2009(平成21)年6月6日]
- 15 彫刻「羽のように、星のように」Like a Wing, Like a Bud.
岡田敬典先生(弘前大学名誉教授)の定年退職の記念作品[2008(平成20)年4月]

AED(自動体外式除細動器)
Automated External Defibrillator

見学スポット Popular spots

- 17 幸せのリング(金工作品)
弘前大学創立70周年を記念し、富田亮平氏(元東亜美術大学員)により制作されたモニュメント。
- 18 シュアリングン(飛行)(金工作品)
弘前大学科学博物館(旧農産館)の展示として、これを模したトフィーが贈呈された。
- 19 地熱利用展示装置
地下50メートルに埋設したパイプに水を循環させ地熱を取り込み、地面直下に埋設したパイプにより熱交換装置。
- 20 ハイブリッド灯(野外照明)とソーラー電池時計塔
太陽電池・風力発電機・蓄電池を活用、満充電で1日連続点灯(点灯時の容量を持つ)。
- 21 旧制弘前高等学校外国人教師館(弘大カフェ)
1925(大正14)年に建てられた洋風建築。平成17年に文化庁より登録有形文化財の認定。平成20年6月に「弘大カフェ」としてリニューアルオープン。

- 22 大宰治記念小公園
弘前大学創立70周年を記念して整備された新しい小公園。
- 23 資料館
弘前大学の前身から現在に至るまでの歴史、多岐な研究成果など、本学のライセンスを認められた展示を楽しむ。
- 24 フォーの振り子
地盤の揺動を感知できることが出来る。振り子の長が45m(日本一)、重さ50kg。
- 25 リング見本園
本学が新品種として登録した果樹まで古いリング(町)の町並みなどが揃えられている。

記念樹 Memorial tree

- A 弘前大学公園化推進記念植樹(ヤマモミジ並木)
Japanese maple
- B 弘前大学創立50周年記念植樹(ケヤキ並木)
Zelkova
- C 郡嶋寛学長記念樹(メタセコイアギ科)
Metasequoia
- D 野村七徳学長記念樹(ヒマラヤスギマツ科)
Himalayan cedar
- E 東野修治学長記念樹(ライラック:モクセイ科)
Lilac
- F 佐藤照学長記念樹(モクレン:モクレン科)
Magnolia
- G 吉田豊学長記念樹(ヤエベニシダレバラ科)
Yakushiji-hidara
- H 遠藤正彦学長選任記念植樹(シモクレン:ハクモクレン:モクレン科)
Magnolia
- I 弘前大学創立70周年記念植樹(エゴノキ:エゴノ科)
Japanese snowbell
- J 佐藤敬学長選任記念植樹(ハナミズキ:ミズキ科)
Dogwood

一時保育

編集委員会・研究委員会・常務会・理事会・若手研究者交流会

受付・研究発表・総会・課題研究

文京町キャンパス Bunkyo-cho Campus

S:1/1,500 掲載されている情報は、2022年9月現在のものです

発表要旨原稿提出のお願い（『発表要旨』執筆要綱）

このたび、日本教育社会学会第75回大会の研究発表にお申し込みいただいた方は、下記要綱にて、発表要旨原稿を、7月14日（金）から8月14日（月）18時までに、「大会発表申し込みシステム」にてご提出くださいますようお願い申し上げます。なお、共同発表の場合は、発表代表者が原稿全体を調整のうえ一括してご提出ください。発表要旨原稿の作成と提出にあたっては、下記の事項にご留意ください。

記

1. 次ページの「発表要旨の書式設定について」を参照の上、A4用紙（縦置き・横書き）にワープロで原稿を作成し、PDF形式のファイルに変換してからご提出ください。ファイル容量の上限は5MBです。なお、実行委員会では、お送りいただいた原稿の下部にページ番号を記入する以外には原稿を一切加工いたしません。
2. 原稿の枚数は、以下の通りです。
個人研究発表：A4用紙（縦置き・横書き） 2枚以内
共同研究発表：発表者1名の場合 A4用紙（縦置き・横書き） 2枚以内
発表者2名以上の場合 A4用紙（縦置き・横書き） 4枚以内
3. 発表要旨の資料的価値を高めるために、ご用意いただく原稿は予告程度ではなく、可能な限り完成度の高い内容とするようお願いいたします。
4. 発表申し込みの際の発表題目がそのまま大会プログラムの題目になります。発表要旨原稿の題目は、発表申し込みの際の発表題目と、必ず同じものにしてください。なお、発表申し込みの際の発表題目は、申し込み時に送付されるメールに記載されます。
5. 原稿提出の締め切りは8月14日（月）18時です。期限までに提出されない場合は、要旨閲覧システムへの掲載は行わず、学会「運営内規」により発表を認めないことがありますのでご注意ください。発表申し込みの場合と同様、この期日の締め切りも厳格に適用させていただきますので、ご了承ください。
6. 原稿受理のお知らせは、自動的に行われます。メールが配信されていない場合、配信されていても提出されたファイル名が確認できていない場合は、ご提出が完了していません。提出を再度お試し頂くか、大会実行委員会までお問い合わせください。

以上

発表要旨の書式設定について

(締切 8月14日(月)18時必着)

この枠がA4判として

余 白 必ず余白を取ってください																	
余白 25mm	<table border="1"><tr><td style="width: 50%; vertical-align: top;">発表題目 約40mm</td><td style="width: 50%; vertical-align: top;">メインタイトルは16ポイント サブタイトルは14ポイント 発表者名(所属)</td></tr><tr><td style="vertical-align: top;">40-50行 (1枚目は発表題目のスペースのため32-44行) 本文は必ず2段組で</td><td style="text-align: center; vertical-align: middle;">11mm 本文は必ず2段組みで</td></tr></table>	発表題目 約40mm	メインタイトルは16ポイント サブタイトルは14ポイント 発表者名(所属)	40-50行 (1枚目は発表題目のスペースのため32-44行) 本文は必ず2段組で	11mm 本文は必ず2段組みで	余白 25mm											
発表題目 約40mm	メインタイトルは16ポイント サブタイトルは14ポイント 発表者名(所属)																
40-50行 (1枚目は発表題目のスペースのため32-44行) 本文は必ず2段組で	11mm 本文は必ず2段組みで																
<table border="1"><tr><td colspan="3">原稿の長さの目安</td></tr><tr><td>1枚目 min</td><td>19×32×2</td><td>1216～</td></tr><tr><td>max</td><td>22×44×2</td><td>～1936</td></tr><tr><td>2枚目 min</td><td>19×40×2</td><td>1520～</td></tr><tr><td>max</td><td>22×50×2</td><td>～2206</td></tr></table>			原稿の長さの目安			1枚目 min	19×32×2	1216～	max	22×44×2	～1936	2枚目 min	19×40×2	1520～	max	22×50×2	～2206
原稿の長さの目安																	
1枚目 min	19×32×2	1216～															
max	22×44×2	～1936															
2枚目 min	19×40×2	1520～															
max	22×50×2	～2206															
余 白 必ず余白を取ってください																	

必ず余白を取ってください

必ず余白を取ってください